

No.241
2019
6/6



はちおうじ

JR東労組
八王子地本
八王子地本
ホームページ
「東労組八王子」で検索



安全風土を崩壊させる施策反対！技術集積型の鉄道固有の経験労働を継承し、
技術継承・技能伝承出来る職場風土を創り出す八王子地本集会



安全風土が崩壊する施策には断固反対の意志で闘い抜く決意を固める！

6月5日、八王子労政会館において200名を超える組合員が結集し『安全風土を崩壊させる施策反対！技術集積型の鉄道固有の経験労働を継承し、技術継承・技能伝承出来る職場風土を創り出す八王子地本集会』を開催しました。

今集会は集会タイトルにもある通り、いま提案されている「新たなジョブローテーション」施策が鉄道の安全風土が崩壊するような施策であれば断固反対の意志を全体で確認しました。参加者からは、いま公共交通機関である鉄道の日々の業務で発生している“思いもよらない事故・ミスが頻発”している現実も発言され、安全の根拠が明確にならない中で会社のスケジュールありきで施策実施するわけにはいきません。

新たなジョブローテーション施策について、組合員・仲間との議論を徹底的に行い、鉄道のあるべき姿を明確にし、組合員の英知を結集させ、安全を守り、技術継承・技能伝承出来る制度を創り出していきましょう！

八王子地本は

- ①各系統のプロの喪失、専門性や技術・技能の蓄積が現場で養われない
- ②安全に関する教育・異常時対応力が弱まり、鉄道の根幹に関わる事態が起きてしまう
- ③担務の変更・異動が強制され、仕事への誇りや働きがい・帰属意識が薄れていく
- ④評価に対して敏感・過敏になり、チームワークが弱まることで現場力が低下する
- ⑤賃金を含む労働条件が現行を下回り、将来への生活設計・安心感が持たなくなるなど、こうした問題点が克服できない施策には、断固反対を貫く決意である。



専門家としての専門性を高めていくことが
技術集積型の鉄道事業が目指すべき姿だ！
鉄道の安全と業務に集中できる体制を構築していこう！！